

関西を元気に 阪神タイガース優勝に伴う経済波及効果は約767億円 大学院会計研究科 宮本勝浩教授らが推定

このたび関西大学会計専門職大学院の宮本勝浩教授らが、2008年プロ野球阪神タイガース優勝の経済効果を推定しました。

本報告書では、阪神がリーグ戦を制し、クライマックスシリーズにおいても優勝し、最終的に日本シリーズでも勝利し日本一になった場合の経済波及効果を推定。計算の結果、経済波及効果は約767億円となり、2005年優勝時の経済波及効果約643億円を上回る数字となりました。

分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「2008年阪神優勝の経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程3年 郭 進
- 3 発表日 2008年9月26日
- 4 内容
 - (1) はじめに
 - (2) 観客数増加による経済効果
 - (3) 優勝セール of 経済効果
 - (4) 阪神ファンの飲食増加の経済効果
 - (5) ロゴマーク入りの阪神タイガースグッズの売上増加の経済効果
 - (6) 尼崎信用金庫のタイガース預金の新規投資と消費拡大の経済効果
 - (7) 優勝パレードの経済効果
 - (8) 新聞・雑誌などのマスコミの売上増加の経済効果
 - (9) 宣伝広告費などの増加による経済効果
 - (10) 直接経済効果の総計
 - (11) 経済波及効果
 - (12) 結論

以上

なお、分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記していただきますようよろしくお願いいたします。

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩(みやもと・かつひろ)
生年月日 昭和20年1月12日(63歳)
本 籍 和歌山県
現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授
学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士(神戸大学)
職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、平成18年4月より現職
この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同済大学、南京理工大
学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
専門分野 国際経済学(移行経済論)、理論経済学、関西経済論
著 書 「大阪経済学」共著、経営書院、「移行経済の理論」中央経済社など
公 職

財務省財政制度等審議会臨時委員
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員
大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長
大阪府市町村合併推進審議会会長
堺市人事委員会委員長
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長
財団法人堺都市政策研究所理事長
など

業 績

- 2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表
- 2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県における経済効果」などを発表
- 2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」などを発表
- 2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディーブインパクトの経済効果」などを発表
- 2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」を発表
- 2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表
「白毛馬ユキチャンの経済波及効果」を発表

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>